

「技術で攻める医工連携 - アプリケーションで攻める！」

参加費割引特典有り

開催期日：平成24年 5月 25日(金)

申込締切：平成24年 5月 18日(金)

主催：公益社団法人 精密工学会 企画：事業部企画第1グループ

協賛（予定）：RP 産業協会/SME 東京支部/応用物理学会/大田区産業振興協会/型技術協会/機械技術協会/機械振興協会/軽金属学会/計測自動制御学会/研削砥石工業会/研磨布紙協会/コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) /首都圏産業活性化協会/情報処理学会/全日本プラスチック製品工業連合会/素形材センター/TAMA-TLO/ダイヤモンド工業協会/超硬工具協会/デクノエイド協会/電気加工学会/電気通信協会/電子情報通信学会/東京都金属プレス工業会/砥粒加工学会/日本医学会/日本医工ものづくりコモンズ/日本 MID 協会/日本オプトメカトロニクス協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本金属学会/日本金属プレス工業協会/日本光学測定機工業会/日本工具工業会/日本工学会/日本工作機械工業会/日本合成樹脂技術協会/日本小型工作機械工業会/日本材料学会/日本生活支援工学会/日本生体医工学会/日本セラミックス協会/日本設計工学会/日本塑性加工学会/日本ソフトウェア科学会/日本鍛造協会/日本ダイカスト協会/日本鋳造工学会/日本溶接協会/日本ロボット学会/プラスチック成形加工学会/ライフサポート学会

日本のお家芸である精密加工技術は、世界の「ものづくり」を牽引して参りましたが、現在では、中国、インドなどの経済発展の著しい BRICs 諸国の台頭により、同技術の活躍の場は日本から世界へと移行しつつあり、危惧せざるを得ない状況であります。しかし近年では、「医工連携」なる新たな分野にて実用化がなされており、我が国の「強み」を最大限に生かした世界に通用する技術はまだまだ健在であります。そこで本講習会では、「医工連携」と「デジタル技術」「精密加工」を2回に渡り取り上げ、異業種技術のマッチングを目的として企画致しましたので、ものづくりに携わっておられる方のご参加をお待ちしております。

日時：平成24年5月25日(金) 10時00分～16時40分

会場：中央大学 後楽園キャンパス 2号館2階 2215室および2221室 (〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27)

*東京メトロ丸ノ内線・南北線『後楽園駅』から徒歩5分

*都営三田線・大江戸線『春日駅』から徒歩7分

*JR 総武線『水道橋駅』から徒歩15分

*会場 URL: http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen_j.html

司会：江口 和徳 (MSC ソフトウェア(株)), 香川 敏之 (デジタルプロセス(株))

次第：(予定)

| 時間 | 題目 | 内容 | 講師 |
|-------------|----------------------------|---|-------------------------------------|
| 10:00～10:10 | 挨拶 | | |
| 10:10～11:00 | 千葉大学の医工連携と医療支援における取り組み | 本講演では、最初に講演者が所属している大学で行われている医工連携の現状を紹介し、その医工連携によって推進されているいくつかの医療支援プロジェクトを概説した後、ラピッドプロトタイプを利用した手術支援ロボットの開発について触れ、最後に医療工学連携の問題点について意見を展開する。 | 千葉大学 工学部メディカルシステム工学科 齋 文偉 |
| 11:00～11:50 | 医工連携都市を目指して(仮) | 講演交渉中 | |
| 11:50～13:00 | 昼食 | | |
| 13:00～13:50 | やっではない医工連携とは・・・ | 医工連携が叫ばれ久しく、徐々に発展してきましたが、演者は医療安全コンサルタントとして医療提供側と医療消費者側の双方の状況を知る立場から、やっではない医工連携と本来のあるべきその考え方に関してご報告する。 | ヘルスケアセーフティガードマン研究所 高原 和男 |
| 13:50～14:40 | 人工関節置換手術を支援する国産初の手術ロボットの開発 | 近年、人工関節置換術が一般的になり、整形外科医には正確な骨切除が求められている。本発表では、高精度の骨切削を低侵襲にて可能とする人工関節置換手術を支援する国産初の手術ロボットの開発について紹介する。 | ナカシマメディカル株式会社 営業部/営業推進グループ 高橋 広幸 |
| 14:40～15:00 | 休憩 | | |
| 15:00～15:50 | CAD/CAM 技術の歯科への適用 | 近年、歯科治療に使うクラウンやインレーなどの歯科技工物の作製に歯科用CAD/CAMシステムが使われるケースが増えている。これら歯科用CAD/CAMシステムの特徴、あり方を述べる。また工業界から参入の場合、壁となる諸事情についても紹介する。 | デジタルプロセス株式会社 デンタル事業室 藤原 稔久 |
| 15:50～16:40 | CT(仮) | 講演交渉中 | |

定員：60名(先着順で定員になり次第締切ります)

参加費：会員(賛助会員および協賛団体会員を含む) 20,000円、非会員 30,000円 【会員・非会員とも講習会テキスト代含む】

学生会員 無料(ただし、講習会テキストご入用の場合は、4,000円をご負担ください)

学生非会員 6,000円(講習会テキスト代含む)

*参加費・講習会テキスト代とも消費税を含みます。

☆参加費割引特典：第353回、第354回の両方を申込される場合は、特典として第354回講習会参加費が半額になります。各回を別々に申込の場合は、申込フォームの「通信欄」に必ず先に申込の回の「受付番号」をご記入下さい。

資料：講習会テキストのみ、または聴講者で2冊以上ご希望の場合、1冊4,000円

申込方法：ホームページ (<http://www.jspe.or.jp/event/koshukai/seminar.html>) からお申込み下さい。

申込先：公益社団法人 精密工学会 (〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-5-9 九段誠和ビル 2F, 電話 03-5226-5191, Fax03-5226-5192)